

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月12日			
平成15年度	事業コード	16310	電話	042(769)8331
担当部課名	総務部	総務	課	情報公開 室
事務事業名	公文書公開制度運営費(行政資料コーナー運営費)			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第6章	彩りのある市民文化を創造します	事業開始年度
基本施策名	第3節	文化的視点に立った行政の推進	63以前年度
施策名	第1施策	文化的視点に立った行政の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

行政資料コーナー管理規程

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
市政をより深く理解していただくため、行政資料コーナーを設置し、市の刊行物を中心に約14,000点の資料を揃え、資料の閲覧、複写、貸出しや有償刊行物の販売を行っている。	行政資料を必要としている人(下記対象数は、便宜上行政資料コーナー利用者数を計上した。)
	対象数 19,396人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
各課・機関の長に対して「行政資料コーナーにおける行政資料の収集について」という通知を出し資料の収集に努めた。また、行政資料コーナー用図書として予算114,972円を用い、「全国市町村要覧」「経済財政白書」「路線価図」等43冊の図書を購入した。平成14年度から、従来の神奈川県に加え、町田市、津久井郡4町との資料交換を開始した。	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
成果指標								
活動指標	資料収集の目標達成率	$\text{収集資料数} \div \text{目標資料数} \times 100$	利用者の要求に応えるため目標を設定し資料を収集していく。	124	134	122	100	100

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費					
決算(予算)額	132	119	114	143	143
人員・時間数	2	2	2	2	2
人件費	10,690	10,690	10,690	10,690	10,690
その他経費					
合計	10,822	10,809	10,804	10,833	10,833
特定財源					
対象数	11,364	18,711	19,396	20,000	20,000
対象の単位あたり経費	1.0	0.6	0.6	0.5	0.5

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	町田市、津久井4町との資料交換も開始し、一層資料の充実が図られた。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっていない
	B : 一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 市の行政資料を包括的に扱うものであり、市民に対して、また行政資料を必要とする人に対して必要である。
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	行政資料として登録することで、情報提供をスムーズに行うことができる。
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 市、県、国、他市の発行する資料は無料で収集するので経済性・効率性は高いといえる。また、資料を配架しているものについては簡単な説明(できる範囲で)を行っており、各担当課の事務量の軽減にも若干ではあるが貢献しているといえる。
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明: 各担当課からの自発的な行政資料の提供。 (行政資料の収集を呼びかける通知を年2回出し、意識啓発を図っている。)	手段	資料収集費、行政資料コーナーに係る人件費を圧縮することは困難。
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
		刊行物を作成するときには必ず行政資料収集担当課の承認を受けなければならない自治体もあり、収集もれも予防されている。刊行物作成の流れの見直しを含めて研究が必要である。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	県等の有償刊行物など、市の行政資料コーナーで対応できないものもあるが、ほとんどの要求に対応できていると思われる。更なる資料の収集に努め、利用者の要求に応えていきたい。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--